

千葉県経済のトピックス

～2021年1-4月期の個人消費の振り返り～

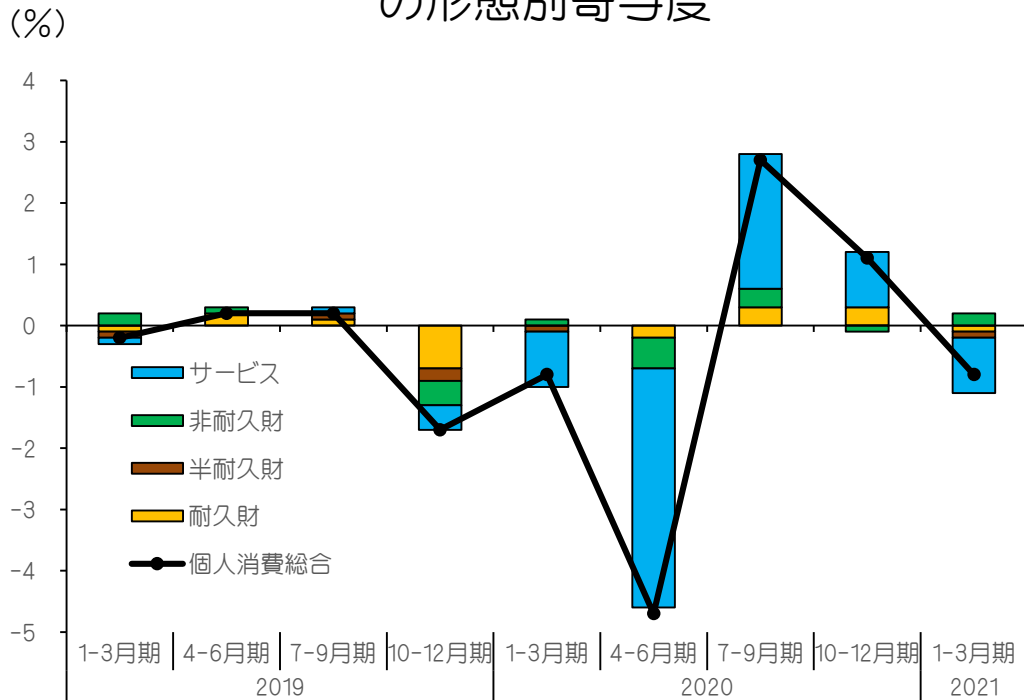
令和3年7月6日

千葉県商工労働部経済政策課

個人消費低迷の主因は、サービス消費の低迷

- 2021年1-3月期の実質GDP成長率(季節調整済)に占める個人消費(国内家計最終消費支出)の前期比寄与度は▲0.8%pt。消費形態別の内訳は、耐久財▲0.1%pt、半耐久財▲0.1%pt、非耐久財+0.2%pt、サービス▲0.9%ptとなっており、サービス支出の減速が個人消費減速の主因となっている。
- また、本県の消費構造においても、サービス支出は全体の46.6%を占める。
- 足下の本県の個人消費動向を把握するには、サービス消費の動向に注視する必要がある。

実質GDP個人消費の成長率(前期比)
の形態別寄与度



1世帯当たり1か月間の支出(千葉県)

(円、%)

項目	支出	割合
財・サービス支出計	273,178	—
商品(財)	145,842	53.4
耐久財	12,515	4.6
半耐久財	24,059	8.8
非耐久財	109,269	40.0
サービス	127,336	46.6



個人消費の内訳

- 耐久財とは、使用期間が3年程度以上と長く有形の製品。
(例:自動車、テレビ、パソコン等)
- 半耐久財とは、使用期間が1年以上3年未満程度の有形の製品。
(例:被服、履物等)
- 非耐久財とは、使用回数が少なく、使用期間も短い有形の製品。
(例:飲料、食品、化粧品等)

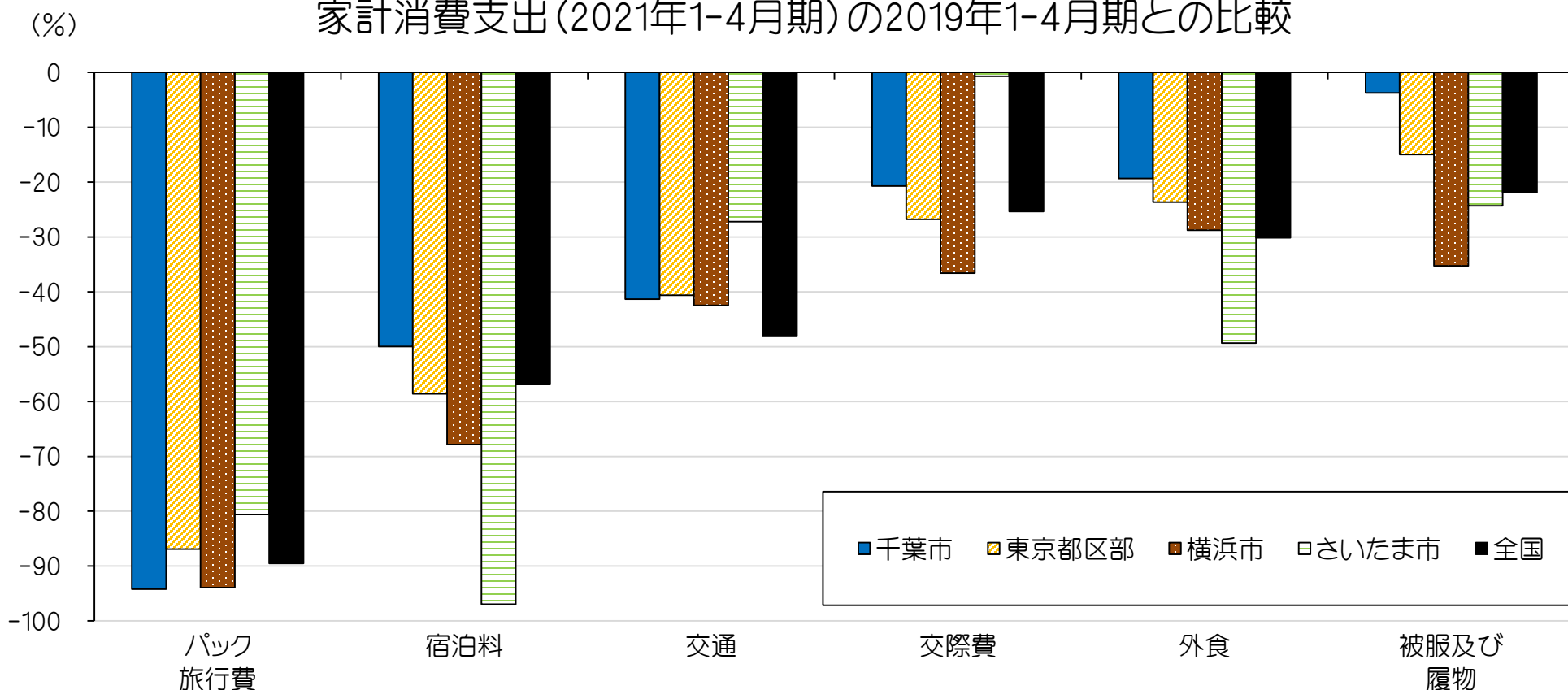
※国内総生産(支出側)に対する寄与度。

(資料)内閣府「四半期別GDP速報(1次速報)」、総務省「平成26年全国消費実態調査」

本県の家計消費支出も、サービス消費を中心に厳しい状況

- ❑ 1都3県(千葉県・東京都・神奈川県・埼玉県)の2021年1-4月期の個人消費について、家計支出額で2019年1-4月期との比較で減少率の大きい項目について比較すると、不要不急の外出や都道府県をまたぐ移動の自粛により旅行、宿泊、交通関連の支出が前年比4割～10割の減少となったほか、営業自粛等の影響により外食も前年比2割～5割の減少となった。
- ❑ なお、1都3県で比較すると、本県は被服及び履物、外食、交際費の減少率が緩やかであったことから、相対的には、県内事業者の活力を維持できたものの、サービス産業を中心に非常に厳しい経営環境となっている。

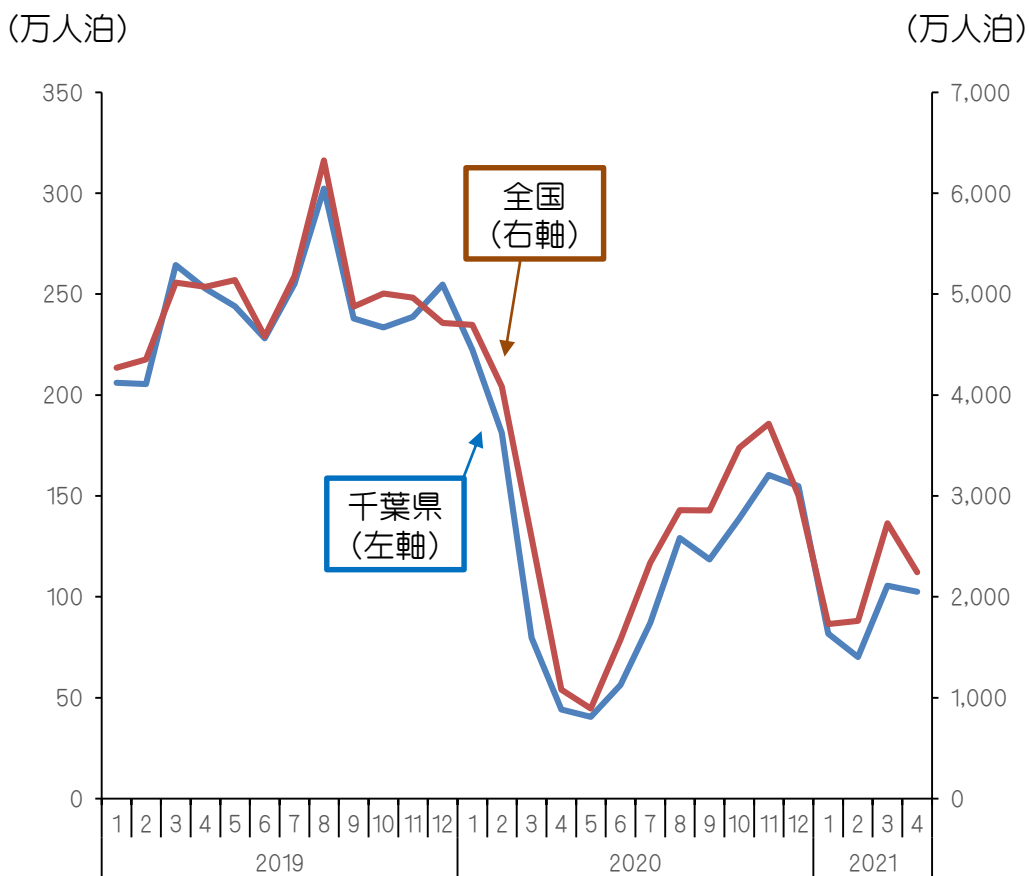
家計消費支出(2021年1-4月期)の2019年1-4月期との比較



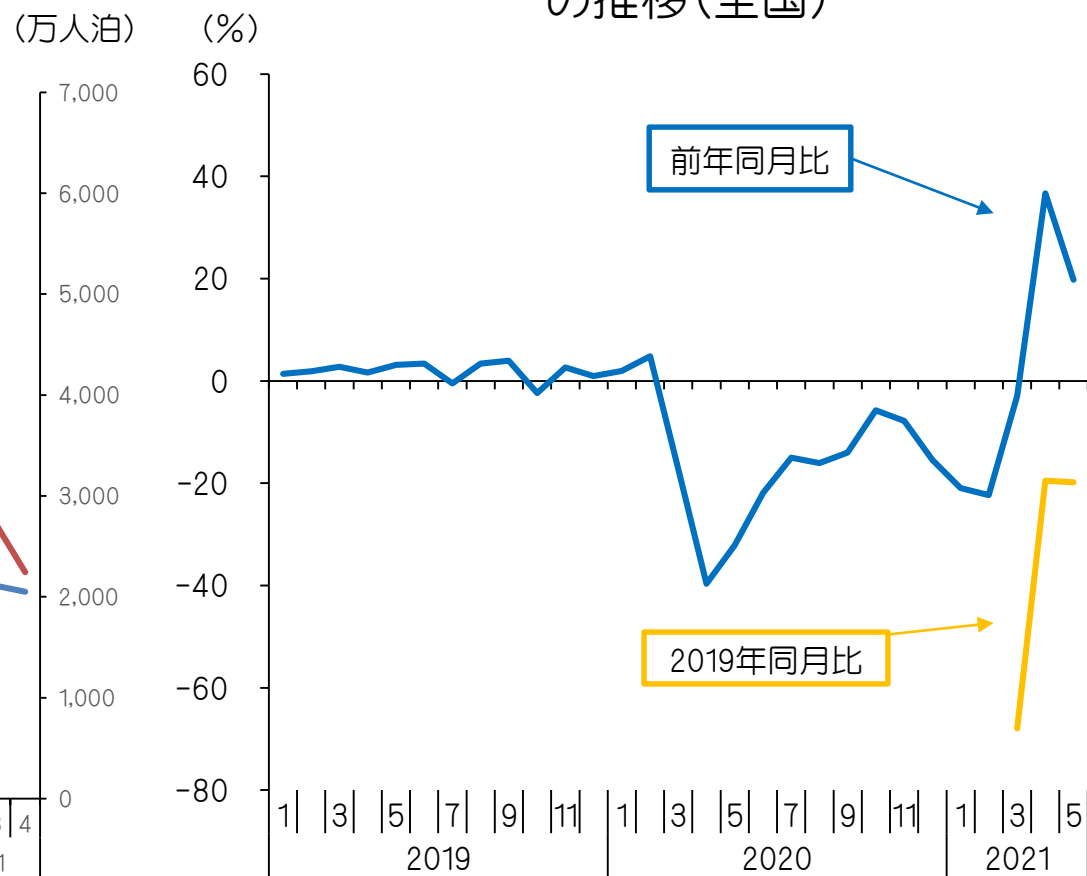
主なサービス業である宿泊業と外食産業は、売上が大きく減少している

- ❑ 本県の宿泊産業は、2021年4月に延べ宿泊者数が103万人泊（2019年4月は253万人泊）と大きく減少。
- ❑ 全国の外食産業は、2021年5月に売上高が2019年同月比▲19.8%と大きく減少。

宿泊産業の延べ宿泊者数



外食産業の売上高の推移(全国)



(資料)観光庁「宿泊旅行統計調査」、日本フードサービス協会「外食産業市場動向調査」